

由 建 第 145 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

静岡県庵原郡由比町

町 長 望 月 俊 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

このことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号で
依頼ありました件について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県庵原郡由比町

1. 現在も進行し、将来もますます進行していく少子高齢化の時代において、今後どれだけの道路を中心とする社会資本整備を進めていくのか、そのための財源をどう確保していくのか、その上で「真に必要な道路」について議論がなされ、住民が安全・安心に生活できる道路整備への十分な財源が継続的に確保されるよう要望する。
2. 道路特定財源が平成21年度から一般財源化されるため、地方財政に影響を及ぼさないよう措置されたい。
3. 道路に求められる役割は地域や目的により異なっていることから、同じ手法で評価することは困難と思われる。
4. 道路事業というと「無駄」「利権」といったマイナスイメージが先行しがちであることから、道路整備の推進を主張することが重要であり、その手段として現状及び解消すべき課題など地域住民の声、理解などその道路の整備がいかに必要であるか、住民に対して今以上に積極的にPRしていくことが必要と思われる。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状 1. 寺尾交差点立体化事業 ・ 国道一号寺尾交差点を先頭に、朝のピーク時に上り方向で慢性的な渋滞が発生している。また、それに伴い速度差の大きい渋滞末尾での追突事故や接触事故などが発生している。 ・ 国道一号富士市方面から大型車(大型観光バスを含む)の由比町へのアクセスが出来ない。 ・ 災害により国道一号の通行止めが発生した場合、大量の車両が道路に滞留し、救援車両の通行を阻害する恐れがある。 2. 広域幹線道路 ・ 由比町は静岡市と結ぶ道路として、東名高速道路、国道一号の2本の幹線道路しかなく一度、交通事故や災害が発生すると町内はもとより由比町以东の市にまで影響を与え、町内は滞留車両で身動きできない状況になってしまう。 3. 生活道路 ・ 道路幅員が狭いことから住民が安全・安心して歩くことが出来ない。	○課題 ・ 事故の削減と渋滞の解消が必要とされている。 ・ 住民及び町を訪れる人の利便性の確保をはかる。 ・ 東海地震等の災害発生時に、近接している東名高速道路、国道一号、東海道本線が寸断されれば、東西の大動脈としての機能が麻痺する。 ・ 滞留車両を排除するための新たなバイパス機能をもつ道路整備の検討が必要とされている。 ・ 道路と家屋が接近しているため、道路用地の確保が困難な状況となっている。このため歩車道分離をどのような手法を用いて実施していくかが課題となっている。
--	--

②-2 地域の目指すべき将来像

* 幹線道路の整備充実を目指す

1. 寺尾交差点立体化事業の早期完成

集中投資することにより、渋滞対策等の交通円滑化や観光促進による住民生活の活性化の実現がはかれる。

2. 広域幹線道路の検討

現国道一号の渋滞・防災対策として、また合併する静岡市との一体的なまちづくりを進める上でも、バイパス機能をもつ新たな道路整備の検討と事業実現化に向けた取組みが必要である。

3. 生活幹線道路の整備

住民が安全・安心して歩けるよう、歩車道の分離の整備をはかる。

* 安全で快適な生活道路整備をめざす

1. 生活道路の整備

地域住民の安全性と利便性を確保していくため、災害に強い道路整備を継続的に実施するとともに、主要な生活道路を中心に交差点改良や狭あい箇所の拡幅改良の整備をはかる。

2. 道路環境の整備

快適でゆとりある道路空間と安全性を確保するため、カラー舗装や歩道の設置のほか、地域住民の協力のもと街路樹等による修景的整備をはかる。

3. 歴史と文化を伝える道の整備

潤いのある空間を創出する昔ながらの家並みを活かすために、景観舗装や街路灯等の修景を施して、旧東海道を景観に優れた散策路として整備していく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

静岡県庵原郡由比町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
交通安全対策及び 地域活力の向上	国道一号富士由比バイパス寺尾交差点立体事業	- 道路利用者の安全性・快適性の向上 - 渋滞の解消 - 事故の削減 - 由比町内へのアクセスが向上することにより、観光交流拡大による地域振興が期待される。 - 自動車の走行速度の向上により、自動車から排出されるCO2等温室効果ガスや大気汚染物質が削減され、地球温暖化防止への貢献が期待される。 - 寺尾交差点立体部でのUターンにより、災害発生時の国道一号滞留車両を排除し、救援ルートが確保がはかれる。 - 地域ブランドである「由比桜えび」などの水産物流の効率化が期待できる。	